

未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol.12

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい」まいばらの水¹²に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしていきます。

水道の蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で、忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ引き継いでいくきっかけとなることを願っています。

天神水 (枝折)

集落の背後にある山々は石灰岩でできており、地下に浸透した雨水がここに湧き出ているといわれ、集落内を流れる枝折川へと注いでいます。この湧水は枯れることなく、昔から地域の生活用水や農業用水として不可欠な水であり、夏には冷蔵庫代わりににも利用されてきました。そのため、天満宮を祀り「天神水」と崇められ、池中の灯籠には「灌田水」と刻まれています。(硬度100.6 mg/l 中硬水)



▲「灌田水」と刻まれている湧水池の中の灯籠



▲湧水地から流れ出る小川



まいばらの水イメージキャラクター
スイナちゃん



お問い合わせ 経済環境部 環境保全課 (伊吹庁舎) ☎58-2230 📠58-1630